

# ゆりかご えんたより



4期(1~3月のねらい 2024・2・1

- ・表現活動を通して心を育てよう
- ・卒園・進級を期待しよう

ゆりかごに「おやじの会」が誕生したのは、1989年。今から35年ほど前になります。発足の経緯は、35周年記念誌『つながりあい』に、初代会長のSさんが紹介してくださっていますが、園

でお父さんたちが集まって飲んだ時に、1人のお父さんが「正式に「おやじの会」を立ち上げよう!」と言ったことがきっかけでした。

当時は、父親が子育てに関わることは今よりも少なかった時代です。父親が保育園に関われれば、少しいは母親の手助けになるのでは、という思いもあったようです。肩書きなしで「〇〇ちゃんのお父さん」と気軽に話せた緩やかな集まりの中で、自由度の高い活動を行ってきたようです。丸一日かけて園内を修繕したり、園庭を整備したり、得意なおやじたちが中心になって、ワイワイと楽しく活動していました。

また、子どもたちが楽しめることも企画。キャンプやソフトボール大会も行っていました。そんなおやじの会の活動で、今も続いているのが熱火間パーティーです。「おやじの会」発足から7年がたった1996年、11月に第1回目の熱火間パーティーが開催されました。当時、幼児用のプールの改修が必要になり、父母の会役員会で、何か活動をして補助ができないかと検討した結果、おやじの会に熱火間パーティーの企画を依頼したのが始まりでした。おやじ6人で5品を調理し、職員たちはおにぎりや綿あめを提供。30家庭70名ほどが集まり、3万円の収益がありました。この間、熱火間の収益で、絵本・おもちゃ・白と杵・学児用プール・太鼓などが子どもたちにプレゼントされました。

この度、4年ぶりに開催された熱火間。4年前を知るおやじがいない中ではありましたが、多くの方々の力で子どもたち大満足のパーティーとなりました。参加者は卒園児含め、子ども54名。OBや職員を含め、大人67名の大変な賑わいとなりました。準備してくださったおやじたちは、ハトハトになったことでしょう。お疲れさまでした。そしてありがとうございました。



第1回目の熱火間の報告には次のように書かれていました。

『熱火間パーティー成功の満足感と心地よい疲れを残し、おやじたちはいつもの二次会コースへくり出して行った』

今回はとてもじゃないけど、疲れ果て、二次会どころではなかったことでしょう。今後は「満足感と心地よい疲れ」を感じられるような熱火間になるよう、みんなでお考え合えたら、と思います。